JAIST Repository
https://dspace.jaist.ac.jp/

Title	石川の伝統工芸を愛でる会 ―伝愛戦隊メデルンジャー―
Author(s)	
Citation	JAIST社会イノベーション・シリーズ４，40
Issue Date	2011-03
Type	Others
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/9750
Rights	
Description	

Japan Advanced Institute of Science and Technology

3 今後の展望

JAIST では、伝統工芸イノベータになるための教育プログラムとして提供している3つのコースを毎年改善してきました。各コースにはそれぞれ目標がありますが、共通することがあります。それは受講生一人一人が自分の課題を考え抜かなければならないということです。自分の考えを深く掘り下げ、他人に論理的に伝えることはなかなか厄介な作業です。そこで、その作業を受講生同士が議論することで助け合うことを促しています。教室で議論する仲間を一人でも多く見つけてほしいのです。

すでに紹介したように、伝愛会はいくつかの展示会を企画・実施しており、修了生のなかではリーディング・グループと言えるでしょう。会全体としての活動もさることながら、個々のメンバー間の連携も活発です。海外諸国への販路開拓を目的とした企画を立案して、地方自治体の補助金を獲得し、果敢に挑戦している事例もあります。

自ら考えた企画で事業や産地の未来を拓く。JAIST では、伝愛会のように受講生同士の産地を超えた結びつきが修了後も育っていき、地域に新たな胎動を生むことを期待しています。

石川の伝統工芸を愛でる会　メンバー連絡先（50 音順）　ブログ URL：http://ameblo.jp/denaisentai/

大島　太郎　（株）大島東太郎商店
〒922-0113 加賀市山中温泉東桂木町ヌ -2-10
TEL：0761-78-1635　FAX：0761-78-5592
URL：http://www.t-oshima.co.jp/
E-mail：taro.o@t-oshima.co.jp

岡田　禎介　（株）岡田や漆器
〒922-0274 加賀市別所町漆器団地 23-5
TEL：0761-77-1345
E-mail：okadaya@i-mail.jp

北野　啓太　（株）青郊
〒923-1112 能美市佐野町ロ -25 番地
TEL：0761-57-2078　FAX：0761-57-2099
URL：http://www.seikou.co.jp/
E-mail：desk@seikou.co.jp

木戸口　智一　オリジナルプリント・リメイクMAGIC
〒920-0997 金沢市竪町 122-1 TOM-MAGIC ビル
TEL：076-262-1331　FAX：076-262-1393
URL：http://www.1cond.com/
E-mai：mail@1cond.com

砂崎　友宏　（株）朝日電機製作所
〒924-0004 白山市旭丘 1 丁目 10 番地
TEL：076-274-2525（代）　FAX：076-274-1333（代）
URL：http://asahi-ew.co.jp
E-mail：info@asahi-ew.co.jp

引持　玉緒　ぬり工房 楽
〒929-2373 輪島市三井町市の坂二 -59 番地
TEL・FAX：0768-26-1346
URL：http://www.rakukobo.net/
E-mail：raku@ca1.wannet.jp

久恒　俊治　友禅空間 工房久恒
〒920-0813 金沢市御所 1-75
TEL・FAX：076-251-7184
URL：http://hisatsune.web.officelive.com
E-mail：kagayuuzen@live.jp

山谷　尚敏　山谷漆工房
〒922-0274 加賀市別所団地 20-4
TEL：0761-76-1536　FAX：0761-76-1537
URL：http://ww3.et.tiki.ne.jp/~yamhis/
E-mail：yamhis@mx3.et.tiki.ne.jp

地域再生人材創出拠点の形成プログラムとは

石川伝統工芸イノベータ養成ユニット事業は文部科学省・科学技術振興調整費の地域再生人材創出拠点の形成プログラムにより運営されています。同プログラムは大学の個性・特色を活かし、地域産業の活性化や地域社会のニーズの解決に向け、地元で活躍し、地域の活性化に貢献し得る人材を育成することを目的として、平成 18 年度に創設されました。大学が地元の自治体と連携し、科学技術を活用して地域に貢献する人材を育成する「地域の知の拠点」を形成するシステムを構築することを支援する仕組みです。

JAIST 社会イノベーション・シリーズ 4

発行　2011 年 3 月

発行所　国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学・地域・イノベーション研究センター
〒923-1292　石川県能美市旭台 1-1　知識科学研究科棟 II 7 階

■本誌に関するご意見、お問い合わせ
TEL：0761-51-1839　FAX：0761-51-1767　E-mail：dento-secr@jaist.ac.jp

本誌は、文部科学省科学技術振興調整費地域再生人材創出拠点の形成プログラムの助成を得て発行しております。

JAIST
JAPAN ADVANCED INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY 1990
北陸先端科学技術大学院大学

JAIST SOCIAL INNOVATION SERIES

社会イノベーション・シリーズ 4

石川の伝統工芸を愛でる会

― 伝愛戦隊メデルンジャー ―

石川の伝統工芸を愛でる会（伝愛会）、またの名を「伝愛戦隊メデルンジャー」として活動するメンバーは、伝統工芸を通じて日本のものづくり文化を伝える伝道師。JAIST 石川伝統工芸イノベータ養成ユニットの学びの場で、輪島塗、加賀友禅、九谷焼、山中漆器、電子機器、ファッション衣料など様々な業種のメンバーが出会い、修了後にひとつのグループを結成して活発に活動しています。平成 22 年夏の展示販売会の開催を皮切りに、体験教室なども企画し、活躍中です。応援してください!

No.40

1　展示会をしよう！

伝統工芸の売り上げは年々減少するばかり・・・。伝統工芸王国・石川といえども変わりはありません。そんな逆風吹きすさぶなか、積極的に情報発信をして、伝統工芸の良さをたくさんの人に知ってもらい、販売につなげていこうと考える集団があります。

その名も石川の伝統工芸を愛でる会、略して伝愛会（であいかい）、またの名を伝愛戦隊メデルンジャーと言います。

平成22年の夏から始まった、彼らの足取りを追ってみましょう。

今ここから…伝統工芸7人展

伝愛会が最初に開催した展示会は「今ここから・・・伝統工芸7人展」。平成22年、まだ夏の盛りの8月7日、8日の両日に開催しました。場所は金沢の主計町（かずえまち）。浅野川沿いの町屋が多く残る、雰囲気のある地区です。一軒の町屋を借りての展示会でした。

このとき出品したメンバーは、引持玉緒さん、砂崎友宏さん、岡田禎介さん、北野啓太さん、久恒俊治さん、山谷尚敏さん、大島太郎さん。商品は、輪島塗、九谷焼、加賀友禅、山中漆器と、伝統工芸とITのコラボ商品でした。

まだ、酷暑厳しいなかでの展示会でしたが、浅野川の川岸を散歩する多くの観光客が物珍しげに立ち寄り、気に入った商品を買い求めていきました。メンバーのみなさんは浴衣に着替えてのアテンドで、冷茶のサービスなど夏の雰囲気たっぷりの展示会となりました。

展示会のDM

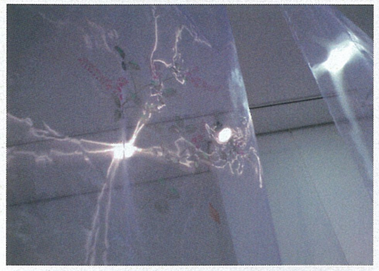
「ココがスゴイ!!　伝統工芸イノベータ・ネットワーク!」展

さらに、間髪入れずに開催したのが、「ココがスゴイ!!　伝統工芸イノベータ・ネットワーク!」展です。

金箔のプリント技術を持つ木戸口智一さんが加わり、石川県立伝統産業工芸館の展示室で、平成22年8月10日から9月28日までの約一ヵ月半にわたって開催しました。伝統産業工芸館は石川県の伝統工芸を展示・紹介する公設の施設です。

会期が長いので前半と後半に分け、展示する作品・商品の一部を入れ替えました。七尾市の繊維メーカーが開発した天女の羽衣という新素材に加賀友禅の技法を施した、久恒俊治さんの作品は、優雅な天女のイメージを伝えて、好評を博しました。

伝統産業工芸館のミュージアム・ショップではメンバーの商品が販売され、会期中に、漆の栞に金箔を貼る体験教室を開催し、ファンのすそ野拡大に努めました。


天女の羽衣と加賀友禅の融合

YES! WE　5♥CAN　～五感～　inしら井

暑い熱い夏が過ぎると季節は秋。金沢・主計町ときたら、つぎの目標は東山での開催です。昆布海産物を取り扱っているしら井・金沢店さんの2階をお借りしての伝統工芸8人展。「伝統工芸をより身近に」をテーマに、平成22年11月17日から22日まで開催。内容は、①金沢文化に触レル（花嫁のれん展 IN KANAZAWA、②選ベル（THE職人箸1000膳）、③使エル（伝統工芸のある日常）、④遊ベル（ワークショップ「透けてる!うるしの栞」金箔張り体験工房）、⑤繋ガル（メデルンジャーとツナガルンジャー ファンクラブ募集）と盛りだくさんでした。工芸品は食べものとの相性がよいですから、東山のしら井さんの店舗をお借りできたのは大変心強いことでした。展示した商品点数はなんと1500点以上!

展示用の什器も自分たちで作ります。山谷尚敏さんが制作した塗り箸用什器が大活躍しました。

商品1500点を超える展示

「私からあなたへ　－One & Only クリスマスプレゼント－」フェア

季節は冬。クリスマス企画も立ち上げます。場所は夏に展示会を開催した石川県立伝統産業工芸館。今度は1階のミュージアム・ショップでの企画販売です。平成22年12月11日、12日の2日間に開催し、クリスマス・プレゼント用の商品を提案しました。

2　出会う、議論する、連携する

石川の伝統工芸を愛でる会（伝愛会：であいかい）とは、どのような集団なのでしょうか。

伝愛会はJAISTの石川伝統工芸イノベータ養成ユニット事業（以下、伝統工芸イノベータ事業）で一緒に学んだメンバーによって結成されました。伝統工芸イノベータ事業が提供する教育プログラムは3つのコースで構成されており、2つ目のコースで商品企画、3つ目のコースで商品開発、展示会出展、販路開拓を学びます。メンバーは主に2期生として学んだ同窓生です。

受講中からすでに産地を越えた仕事の連携、受発注が始まっていましたが、修了後も受講を契機に始まった連携を継続できないかということが関心事となりました。そこで、まずはできるところから始め、展示会を開催して販売していこうということになりました。

伝統工芸の世界で業種の異なるメンバーが集い、連携することに、どのような意味があるのでしょうか。まずは、多様な意見が物事に対する見方を変え、議論の質を高める可能性があります。企画を立てるとき、同じ業界の人間で議論するよりも議論に幅が出ます。展示会の場合は商品点数が増え、いろいろな見せ方ができます。必要な資金やアテンドに必要なマンパワーも分散できます。そして、何よりも仲間の存在に甘えるのでなく、お互いの経験を学び合い、切磋琢磨する場になるのです。